



2025~2026 ライオンズクラブ国際協会 336-C地区 2R・1Z

尾道ライオンズクラブ会報

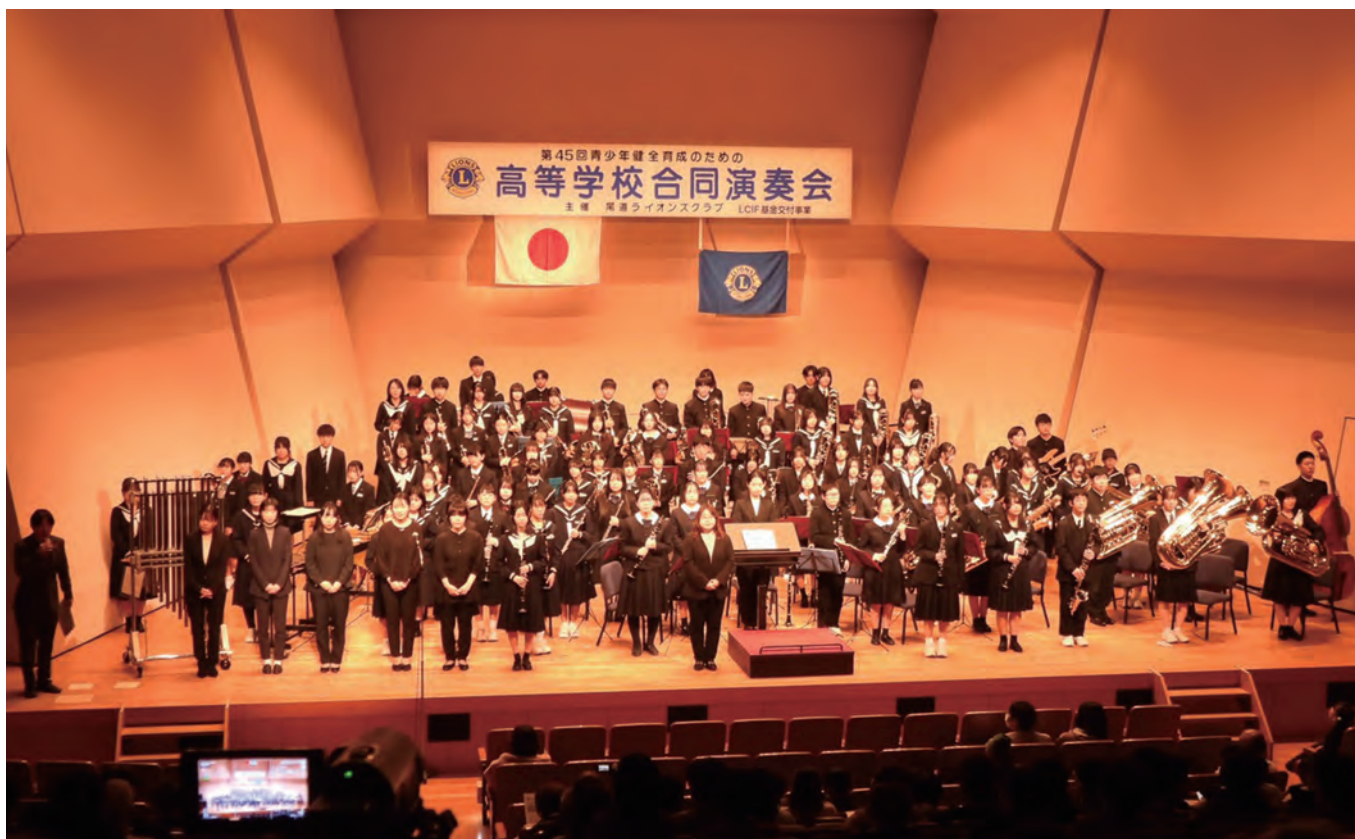
「愛 -さりげなく あざやかに- We Serve!」

2026年4月号 No.604

第45回 高等学校合同演奏会

〈日時〉2月1日(日) 13:30~ 〈場所〉しまなみ交流館

市民(環境保全・保健福祉)委員長 今城 元



尾道ライオンズクラブでは、青少年育成事業の一環として「高等学校合同演奏会」を過去44回にわたり開催してまいりました。尾道市内の高等学校4校・中学校4校の計8校による演奏会は、毎年多くの感動を呼んでいます。

今回は第45回の節目を記念し、尾道ライオンズクラブフェスティバル「来たらいーおん」と銘打ったイベントも同時開催いたしました。しまなみ交流館1Fギャラリーでの計3団体によるダンスイベントや、大学サークルによる楽器パフォーマンスに加え、芝生広場には飲食ブースも設置いたしました。その結果、例年以上に多くの方々に足を運んでいただくことができました。

今後も、皆様に喜んで参加いただけるアクティビティを企画し、実行してまいりたいと考えております。



薬物乱用防止活動PR



尾道LCフェスティバル・来たらいーおん

青少年薬物乱用防止教室

薬物乱用防止委員会



12月16日(火) 吉和中学校



12月18日(木) 尾道みなと中学校



1月30日(金) 三成小学校



2月12日(木) 浦崎小学校

12/21(日) 2025広島東洋カープ 少年野球教室

於：美木中学校



選手と集合写真



薬物乱用防止活動PR

2/22(日) ライオンズカップ尾道地区小学生バレーボール大会



場所：びんご運動公園こさかなくんアリーナ

3/17(火) 献血活動



場所：尾道市役所 1階 市民交流スペース

藤原 寿雄 さんを偲んで

藤原寿雄さんは昭和12年10月23日生まれで、尾道ライオンズクラブへは1963年(昭和38年)10月の入会です。私は平成元年4月の入会ですから、それからの御付き合いになりますが、入会した当時は、当然のことですが私より30歳も40歳も多い先輩方達が多く、何か近寄りたがたい感じがしました。例えば、小西さんのお父さんや、鍛治川さんのお爺さん、亀田良一前市長、山根前会長のお父さん、河本さんのお父さん等、最年長は中川ガラス店のお爺さんで90歳以上でした。

藤原さんとは、広島経済同友会尾道支部の役員会で時々お酒を酌み交わしてお話をした事があったのですが、ライオンズクラブで親しくさせて頂いたのは、藤原さんがガバナーになられた時、1996年で、今から30年前の事です。私も副会計として、キャビネットの一員として多くの会議に参加しました。当時のキャビネット構成員として、尾道LCからはキャビネット幹事 富島さん、会計 森田さん、年次大会委員長 今岡さん、事務局長 小早川さん、副幹事 渡辺さん、井上さん、久野さん、副会計 小田原さん、そして私の9人が出ていました。当時の市長は博田さんで、広島県との調整が上手くいかず、経済界では新しい市長を選出しないとイケないとの意見が有り、当時の広島経済同友会尾道支部の役員で色々な議論があり、藤原さんは市長ではなくガバナーになり、亀田さんが市長選に出馬することになったそうです。

1996年8月の336-C地区は、7リジョン 20ゾーン 106クラブ、会員は5,549人で、2025年12月の会員は2,722人で、2,827人減少し半分以下になっています。やはり尾道LCもライオンズクラブの有り方等考えていく事が大切だと思います。キャビネットは4月より各事業の引継ぎが始まり、各種の研修会が開催され、6月の国際大会でガバナーが正式に任命されます。8月からはガバナー公式訪問が始まり20地区を訪問しました。当時の藤原ガバナーのスピーチは切れが有り、明瞭でわかりやすく、きっちりその時間内で話をされていました。336-C地区年次大会は、びんご運動公園 健康スポーツセンター メインアリーナで行われ、委員会、分科会は各会議室で行われ、代議員総会、大会式典ライオンズの夕べはメインアリーナで行われました。

ガバナーが終わっても、地区名誉顧問として残り複合地区の役員をしたり、日本ライオンズクラブの委員をしたりして活躍されていました。

池田 達美

藤原寿雄さんは、尾道商業高校をご卒業後、日曜雑貨を扱う藤原商事を継がれました。当時、いわゆる「問屋無用論」が広がり始めた中で、藤原さんはいち早くその流れを見極め、尾道では先駆けて事業を閉じる決断をされました。その際には、高橋大蔵さんに大変お世話になったと、藤原さんご自身がよく話しておられたことを思い出します。

私と藤原さんの出会いは、基本的にはライオンズクラブでした。初対面のとき、いきなり「君は偉そうに見えるから、注意なさい!」とご指摘を受けたことは、今でも強く記憶に残っています。藤原さんといえば、同じく地区名誉顧問を務められた片岡さんの存在も思い起こされます。お二人は実に対照的で、私の印象では「ナタの片岡、カミソリの藤原さん」でした。特に藤原さんの指摘の鋭さは、まさにカミソリのようで、地区大会においても事前に資料を取り寄せ、隅々まで読み込んだうえで質問をされるため、キャビネットが答えに窮する場面もあったほどです。対照的な二人といえば、「仏の政成、鬼の新介」と並び、今でも強烈な印象として心に残っています。

藤原さんは日本酒をこよなく愛された方でもありました。かつて同じくライオンズクラブに所属されていた向酒店の向さんの話によると、「雨後の月」を毎月一升瓶で三本、自宅に届けていたそうです。また、おしゃれにも非常に気を遣われる方で、あるとき派手なネクタイをされていた藤原さんを私が褒めると、本当に嬉しそうな表情をされたことが忘れられません。まさに隙のないおしゃれでした。

一方で、けじめを非常に重んじる方でもありました。理事会にアロハシャツで出席していたメンバーに対しては、「仕事帰りの格好ならともかく」と、服装のけじめについて厳しく指摘されていたことも印象に残っています。また、会則にも大変詳しく、かつて私は後継者として誰を評価されているのか尋ねたことがありますが、その際には池田達美さんと高橋務さんの名前を挙げておられました。若手に対しても、しっかりと期待と評価をされていた方だったと思います。

皆さんは、私が最後に藤原さんと話をした人間だと思われているかもしれませんが、実際には平さんが、藤原さんから後継者として見られていたのではないかと、私はそんなふうに感じております。藤原寿雄さんの厳しさと温かさ、そしてその生き様は、これからも私たちの心の中に生き続けることでしょう。

村上 進



新入会員・転籍会員・再入会員紹介



内海 洋平 さん

障害福祉の事業を運営しています。日々現場で利用者や職員と向き合いながら、「仕事は人のため、ひいては世のため」という思いを大切にしています。うまくいくことばかりではなく、迷いや葛藤も多い毎日ですが、その分学びも多く、人に支えられていることを実感しています。AI事業への挑戦やDXの導入など新しい取り組みも進めています。根底にあるのは目の前の人を大切にする姿勢です。

趣味は読書。特に小説が好きで、本を通じて別の世界に身を置く時間を大切にしています。派手さはなくとも、小さな実践を積み重ねることが、地域や社会の力になると信じています。



馬原 竜治 さん

ライオンズに入会してまだ日が浅いので今回は、趣味でもあるキャンプの事について書きます。キャンプ場に、着くとまず家族で協力してテントを建てます。そのあと子供たちは、焚き火用の薪拾いです。普段は、スイッチひとつで火がつかますがキャンプでは、火をおこすのも一苦勞。火おこしは長男に任せますが中々、火がつかません。すぐには、手を出さずに試行錯誤してるのを見守ります。自然の中であるもの活用して生きる力を身につけていけたらいいなと思います。

火がつかしたら、鉄フライパンでステーキを焼きます。外でみんなで食べるというお店で食べるよりも美味しく感じます。飯盒で炊いたご飯も炊飯器で炊くより格段に美味しいです。準備は少し大変ですが、あの不便さも含めて「美味しい思い出」になるのが不思議なところ。焚き火の中に放り込んでおいたサツマイモがホクホクでいつも取り合いです。トトロ焼きマシュマロも最高です。朝は、ハンドドリップで淹れたコーヒーとホットサンドが最高に美味しいです。

キャンプで子供たちは、海で釣りをしたり生き物を捕まえたり自然の中で思いっきり遊んでちょっと危ない事もしたりして良い経験だと思います。

子供が大きくなって、またキャンプに行くと焚き火を囲んで今度は、一緒にお酒飲むのが僕の些細な夢です。



大磯 勝志 さん

サン急便株式会社の大磯勝志と申します。昭和45年生まれの56歳です。

会社の事業内容としましては、主に一般廃棄物収集運搬をしています。平成29年に個人事業としてスタートし、令和5年に法人設立いたしました。早いもので3年目に突入し、日々現場で汗を流しております。

趣味は釣りで、休日になるともっぱら海釣りに行っています。今の時期には(3月、4月)ホゴ、メバルがよく釣れます。秋には(10月、11月)アオリイカを釣るのがとても楽しいです。また、自然の中で癒されリフレッシュできるのも釣りの魅力の一つでもあります。

尾道ライオンズクラブとのご縁に感謝し、活動を通じて学びながら少しでも地域に貢献できればと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



高重 直文 さん

尾道ライオンズクラブに入会して

2025年10月に入会させていただきました、株式会社西川組の高重直文と申します。西川組は、私で4代目となり現在設立61年目になります。

私はもともと三原市出身で、8年前に三原市にあるグループ会社から移籍して西川組にきました。30歳の時に三原のグループ会社に社員として入社し、その後取締役へ就任して、最終的には西川組へ移籍して代表取締役に就任するという、なかなか異例の経歴かと思えます。

そんな私が8年前に移籍してきたころは西川組の経営状況も大変な時で、必死に経営の勉強をしながら改善に努めていました。そしてちょうどそのころ2018年に西日本豪雨災害を経験し、その2年後の2020年には新型コロナ、そのコロナの中で代表取締役に就任し今まで頑張ってきています。

頑張ってきた成果か、社員数も23人から34名に、売上と利益も順調に上がり、現在では新しい挑戦としてカンボジアに支店も設置しました。カンボジアはまだまだ貧困の差が大きくあり、インフラ整備もこれからの国です。そんなカンボジアに行く事により日本での当たり前前の生活に凄く感謝を覚えました。これから私がカンボジアで何が出来るか、インフラ整備が他の事業かは分かりませんが、いろいろな挑戦をしていきたいと思っています。そしてせっかくライオンズクラブに入会させていただいたのだから、奉仕の精神を尾道だけではなく、カンボジアでもいかしていきたいと思っています。

今後とも宜しくお願い致します。



坂口 公彦 さん

尾道ライオンズクラブ入会にあたっての決意

住吉さんから昨年度推薦を頂き、令和7年11月に入会させて頂きました坂口公彦と申します。

私は大阪府出身で生野区鶴橋という商店街や韓国のホルモン焼きといった賑やかな場所で生まれ育ちました。22歳のころ三原市に住む彼女と出会い結婚を機に三原に移住させて頂きました。尾道は中学生の頃より大林監督の「転校生」という映画を観てから好きになると共に、気になる町でしたので、現在ご縁があって尾道で創業者として会社経営をさせて頂いているのは不思議な気持ちで嬉しく思います。

私は、小さい頃から家庭に恵まれず中学1年生から学校の許可を特別に受けてアパートでの一人暮らしをアルバイトをしながらスタートするという貴重な経験を持つ略歴があります。様々な大人の力を借りながら一人では生きていけないという経験と“感謝の気持ち”を覚えさせて頂き生きて参りましたので、住吉さんに尾道ライオンズクラブをお勧め頂いた時には、私のような経験をされている少年、少女がこの世の中には沢山いるかもしれないし、こうやって頑張らせていられるのはあの時の守る側の立場におられる方々のおかげだと思いましたので、今度は私が尾道ライオンズクラブで奉仕活動をする時が来たのだと感じたからです。

株式会社コアブリッジを創業したのは丁度今から10年前でした。某一部上場企業に24年間勤めてから安定を捨て脱サラをして48歳で起業を決意したのも、このままでは本当の意味で社会に対しての恩返しが出来ない阪神淡路大震災や東日本大震災を目の当たりにして、これからの時代は特に後期高齢化社会、障がい者問題等を踏まえると、社会的弱者の方々が本当に危険な時代に突入している事を実感したので、防災事業として今までのボランティア活動や防災士としての活動や経験を活かし、ここから先の人生をかけてこの事業を通して“守る側”のスタッフを育てながら、必ず真の防災事業の成功を目指し、尾道ライオンズクラブとの両輪にて頑張らせていただこうと思っております。

最後になりますが、諸先輩方のアドバイスも受けながら、少しでもここ尾道の“盾”になれる様にお役に立てればと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



林 直樹 さん

昨年、つまり2025年8月に入会しました。スポンサーは徳永修さんです。入会書類作成に当たっては、亀田年保さんが、私の勤務先である尾道市立大学の研究室までわざわざ足をお運びくださいました。ご兩名とは、一昨年つまり2024年に尾道映画祭実行委員会にお誘いいただいて以来の御縁です。同映画祭には運営委員会という実働部隊(?)がありまして、様々かつ率直な意見が飛び交い、非常に刺激的なやり取りになります。大変勉強させていただくとともに励みとなっております。

私は鳥取県鳥取市の生まれです。かつては自然科学者に憧れつつも、結局は京都の大学院を経て社会科学の研究者になりました。社会の一員たる者が社会をどう客観視するか、つねづね悪戦苦闘ですが、ライオンズクラブの皆様の背中に大いに学ばせていただきつつ、尾道の街を第一のフィールドとして、今後も上記の問いを深めていければと思っております。どうぞ末永く、よろしくお願い申し上げます。



河原 努 さん

尾道に来て、毎日充実しています！

尾道ライオンズクラブに入会させて頂き、毎月の例会に加え少年野球大会や高等学校合同演奏会など貴重な経験をしているうちに、早いもので9か月経過しました。

簡単ですが、私の自己紹介をします。私は昭和46年生まれの54歳で、東広島市出身です。家族は妻、長男、二男で、現在は三原市中之町在住です。平成8年にかもめ信用金庫に入庫し、これまで三原や福山、東広島の各支店や本部にて勤務し、間もなく入庫30年となります。

尾道での勤務は今回が初めてです。私にとって、これまで尾道は「近くて遠い街」で、土日は観光客が多くて混雑するイメージがあったので訪れることはなく、仕事でも殆ど無縁でした。実際に尾道で勤務するようになって一番感じたことは「とにかく活気と勢いがある！」です。山育ちの私にとって、毎日、海の近くで仕事ができる環境も新鮮で、今後も日々刺激を受けつつ仕事とライオンズ活動に邁進したいと思いますので、引き続きよろしくお願い致します。



出口 勇樹 さん

再入会のご挨拶

こんにちは。お世話になってます。

初めは「再入会について」という内容を考えましたが、忘年会の挨拶やローアで述べさせて貰ってるので、逆に「再入会して」というテーマで書きたいと思います。

とは言っても、元々崇高な理想など持ち合わせておらず、ライオンズ精神もよく理解出来ていないので、「理想と違った」とか「やはり大変」とか、そういう思いは有りませんでした。ただ一つだけ強く感じたのは、メンバーに対する「寂しさ」でした。何人かの方が退会・欠席を余儀なくされていましたが、正直想像もしていませんでした。わずか2年半足らずですが、時の流れは残酷だなと、つくづく感じます。

だからこそ、以前の様に会社・家庭の事情があっても、わがままに退会などせず、新しい会員とも意気投合してやっていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

お礼状



尾道市子どもの居場所づくりネットワークより、フードバンクのお礼状をいただきました。

ご厚志

3月19日、故藤原寿雄さんの遺志により藤原美枝様から尾道ライオンズクラブに100万円をご寄付いただきました。平会長より、故藤原寿雄さんのご遺族に感謝状を贈呈いたしました。



寄稿 ～お城物語～

政成 龍男

2019年12月、年末挨拶の為、社員と2人関東地区のお客様を訪問した帰り道に箱根駅伝の山登りの起点である小田原中継所から箱根までの「第5区」を通って帰ろうと思っていたら、小田原城のすぐ横の交差点があり、小田原城の天守閣が見えたので寄ってみました。ちょうどその日、20人くらいのスタッフがいて、赤いキツネと緑のタヌキの旗を立てた人だかりがあり、近づくに「是非食べて行って下さい。アンケートに協力して下さい」と言われ、赤か緑かどちらかに○をして下さい、どちらでも良いので赤いキツネを美味しく頂きました。そして是非小田原城も見て行って下さいと言われ、断れず城内を歩いてみました。売店で係の人から「日本100名城に行こう、公式スタンプ帳」をスタンプを押して渡されました。これが、お城との出会いです。

まず「日本100名城」とは、財団法人日本城郭協会が創立40周年記念事業として選定したものです。

①優れた文化財・史跡であること。

有形文化財・国宝など、価値のあるものとして、姫路城、松本城、名古屋城、彦根城など。

世界遺産登録物件、姫路城、熊本城など。

②著名な歴史の舞台であること。

竹田城、松江城、大坂城、江戸城、五稜郭など。

③歴史的、学術的価値であること。

城は平安時代に発生し、戦国時代の美しい近世城郭で終わりますが、古代の朝鮮式、山城、北海道のチャシ、沖縄のグスクなど地域性を合わせて広くマッチする全国478城の中から、各時代の代表的な100城を選んだものです。

小田原城から帰った当時は、本も読まずお城を見ても大して気にも止めていませんでしたが、城巡りをするうち、小田原城はすごいお城だと気が付きました。北条家の本拠地で、総構えは全長9kmで城下町を土塁で囲い、堀があり、支城も多くネットワークして城下町を守っていました。

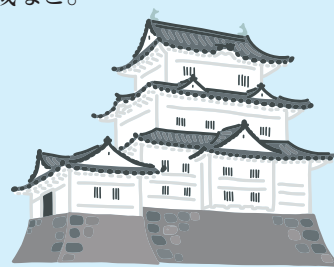
豊臣秀吉による北条氏征伐時、22万の兵でもとても攻められないと判断し、小田原城攻略の前線基地として建設したのが石垣山城です。小田原城から見えないように杉林の裏に3か月で石垣を築き、完成直後に前の杉林を伐採して、小田原城から突如城ができたように見せたそうです。

現在の大阪城は、豊臣とは関係なく、1620年から天下普請で各大名が分担して築城し、3代将軍家光の1629年に完成しました。

丸岡城は小さいけれど他の城と比べて違う雰囲気を持っていると昔から気になっていましたが、訪ねてみると現存天守であり1576年築城で450年前の日本最古の天守である事が分かりました。

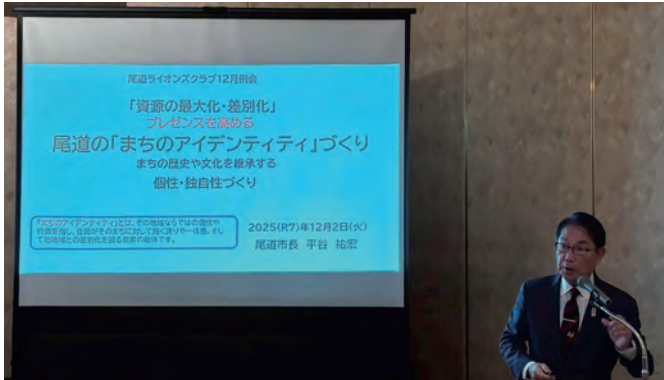
現存している12天守は、弘前城（青森）、松本城（長野）、丸岡城（福井）、犬山城（愛知）、彦根城（滋賀）、姫路城（兵庫）、備中松山城（岡山）、松山城（愛媛）、丸亀城（香川）、高知城（高知）。中国地方には、半分の6城もあります。

日本100名城のスタンプは、2007年4月から2024年10月22日、4年10か月と9日で終了。日本城郭協会登城完了認定証登録 第6647番。引き続き「続100名城」も始め、2026年3月現在、89城を登城、残り11城。今年の5月に終了の予定です。次は何に挑戦しようか。



獅子の広場

12月2日(火) 第1615回 第一例会



ゲストスピーチ 尾道市長 平谷 祐宏 様



12月誕生の方

12月6日(土) ゴルフ同好会



ゴルフコンペ

12月16日(火) 第1616回 忘年例会



ビンゴゲーム

1月13日(火) 第1617回 新年例会



集合写真



1月誕生の方



年男の皆さん

1月22日(木) 第42回5クラブ合同例会
(尾道LC第1618回)



場所：尾道国際ホテル

2月17日(火) 第1620回 第二例会

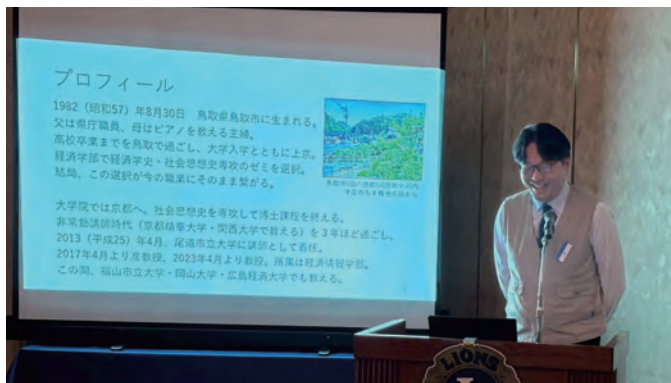


故 片岡 文雄さんの追悼 徳永 修 さん



2月誕生の方

3月3日(火) 第1621回 第一例会



会員スピーチ
林 直樹 さん

3月17日(火) 第1622回 第二例会



故 藤原 寿雄さんの追悼 村上 進 さん



故 藤原 寿雄さんの追悼 池田 達美 さん



第72回地区年次大会 任命書伝達

【百獣の編集室から】

今年こそはやるぞとの意気込みに応えて、皆さんから多くの原稿をいただきました。原稿をいただくと俄然ヤル気が沸きます。

我こそとの勇気ある寄稿をお待ちしてます。

政成さんありがとうございます！政成さんの続百名城の攻略完了の暁にはお祝いしたいですね！

■5月第一例会【1625回】通常例会

- 日時/5月12日(火) 12:15~13:30
- 場所/尾道国際ホテル
- ・次年度運営・事業委員会

■5月第二例会【1626回】会員スピーチ例会

- 日時/5月19日(火) 12:15~13:30
- 場所/尾道国際ホテル

■6月第一例会【1627回】通常例会

- 日時/6月2日(火) 12:15~13:30
- 場所/尾道国際ホテル
- ・第一、第二副会長挨拶
- ・運営・事業委員会報告

